

4月	豊川放水路 愛護モニタ一報告	モニタ一区间	放水路: 左右岸 0.0km~6.6km
			管轄出張所: 豊川流域治水出張所



4月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km～6.6km 管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和 6 年 4 月 5 日	実施区間	豊川橋、前芝大橋両右岸付近

豊川放水路分流堰の柑子橋から数えて11番目の最後の橋、豊川橋を見てきました。三河湾に注ぐ河口に近いので、川幅も広大で、国道23号バイパスの橋の上は車両がひっきりなしに往復していました。豊川橋から右岸下流河口の堤防突端付近には、国道交通省の案内掲示板が設置され、前芝水位観測所の案内と分流堰の放流による増水注意の案内が書かれていました。前芝灯明台前に、陸閉鎖中通行止と書かれた金属板が設置されていました。陸閉鎖の読み方も意味もわからず、調べてみました。陸閉鎖は「りっこう」と読み、その意味は、「堤防が連続していない場合、暫定措置として洪水の時などに堤防の機能を確保するために締め切ることのできる施設」とありました。豊川橋右岸から下流の河口付近までは、堤防も河川敷も、ごみもなく、きれいな状態でした。

次に、前芝大橋右岸上流を見に行きました。前芝大橋右岸上流の150から200メートルの河川敷に藤井船溜樋門が設置されていました。この樋門の役割も、堤内地(堤防によって洪水から守られている区域のこと)側に洪水などの水が堤外地(川側の区域)から堤内地側に逆流しないように設ける施設のこととありました。モニターをやっていると、河川用語のことがとても気になり、いろいろと調べたいくなります。とても勉強になりました。この藤井船溜樋門横の堤防上で作業員5～6人が何か工事をしていました。どんな工事かは危ないので、少し遠くから見ただけでした。藤井船溜樋門の対岸の前芝大橋上流左岸の所は新しく護岸工事がなされてきれいな白いコンクリートなどが埋め込まれていました。全体的に前芝大橋右岸上流は、堤防も河川敷もきれいでしたが、一カ所藤井船溜樋門近くの河川敷に空き缶が6～7個まとめて放置されており、残念に思いました。

東三河唯一の水源である豊川、豊川放水路を大切に守り、いつまでもきれいな命の水であることを忘れてはいけないと思います。

別紙撮影写真の説明

最上段の小型写真4枚は、左から豊川橋右岸下流の案内掲示板2枚、豊川橋、前芝灯明台前の陸閉鎖の写真

その下の中型写真は、2段目 前芝大橋右岸、藤井船溜樋門

3段目 同樋門横の堤防上の工事の写真、藤井船溜樋門の案内表示

4段目 同樋門前対岸の前芝大橋左岸の護岸工事完了後の写真2枚

5段目 前芝大橋右岸上流河川敷の写真2枚、付近に放置された空き缶